

第 65 回 国際理解・国際協力・多文化共生のための全国中学生作文コンテスト東京都大会 銀賞

大妻中野中学校 3 年

山口 みお

課題①

あなたが考える平和とは何か。そのために何をすべきか。

副題

平和の鐘は君の胸に響くよ

約百四十人の歌声とそのハーモニーが沖縄の平和祈念公園の祈念堂に響き渡った。私たちが歌った「HEIWAの鐘」のように戦争体験と平和への願いを綴った曲は数多く残されている。私はずっと疑問に思っていた。「なぜ本や映像ではなく歌という形で残したのか。」しかし、沖縄でこの曲を歌ってから、その意味が少しわかった気がした。

歌は、一人でも歌うことはできるが、合唱は一人ではできない。一緒に歌ってくれる仲間が必要だ。これが歌という形で平和を伝える一つの理由なのではないかと私は思う。全体で美しいハーモニーを作るためには自分だけが上手くなることを考えていてはいけない。上手く歌えない人がいたら、一緒に練習して共に作り上げるという意識が大切になる。私は合唱部に所属しているためその大切さを日々感じている。これは一見、平和とは関係のないことのように見えるが、実はその本質をとらえている考え方なのではないだろうか。また、音楽には言語の壁を超える力がある。たとえ言葉が通じなくても、歌には世界中の人の心を動かす力がある。歌を通して心が通い合えば、互いの違いを認め合い、平和な世界を作ることにつながると思う。これらは、平和な世界を作るために必要な「思いやり」「協力」「共感」の考え方に通ずることだと感じている。

平和とは「自分の幸せと同じくらい他人の幸せを大切にできること。」だと思う。私は今家族がいて、新しいことを学べて、やりたいことにとことん熱中できている。それが私の幸せだ。しかし、世界にはこの幸せを手にしていない人が多くいるということを私は知っている。私にできることは、そういった人達がいることをどんな時も忘れないこと。また、その人たちの立場に立って考えることだと思う。そして、「思いやり」「協力」「共感」の輪を小さなコミュニティから広げていき、世界に届ける努力を続けることが大事だと思う。HEIWAの鐘の歌詞の中にある「奇跡」はその輪が世界中に広がることを意味していると思う。その思

いを忘れず、平和な世界に少しずつ近づいていけたらと願っている。